

マーケットの動き（2023年12月26日～2024年1月5日）

先週の米国株式市場は、前週末（12/29）比で下落しました。

12月最終週は早期利下げ観測が高まっていることなどから、半導体関連株を中心に底堅く推移しました。年初は12月FOMC（米国連邦公開市場委員会）議事要旨が景気抑制的な内容であったことなどが相場の重石となり下落しましたが、米国雇用関連指標が労働市場の底堅さを示し景気を損なうことなくインフレを鎮静化できるとの期待感が高まり、米国株式は下げ幅を縮めて週を終えました。

欧州株式市場は、おおむね米国に連動した推移となりました。

投資環境見通し（2024年1月）

外国株式相場は、米国では強含み、欧州では上値が重い

企業業績については、これまでの利上げの影響に加え、景況感の鈍化もあり、個別銘柄ではまちまちとみられますが、製造業の循環的な底打ち見通しから、次第に底堅くなるかとみています。米国株式相場は、インフレ鈍化を背景とした利下げ観測に加えて、景気が軟着陸するとの見方に支えられ、強含みで推移するとみています。欧州株式相場は、長期金利の低下は支援材料とみられますが、景気悪化に連れて企業業績の下振れ懸念が広がりやすく、中国景気の鈍化もあり、上値の重い展開になるとみています。

	1月5日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	4,697.24	▲1.52%	2.85%	5.63%	23.35%
NYダウ	37,466.11	▲0.59%	3.71%	9.27%	13.77%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

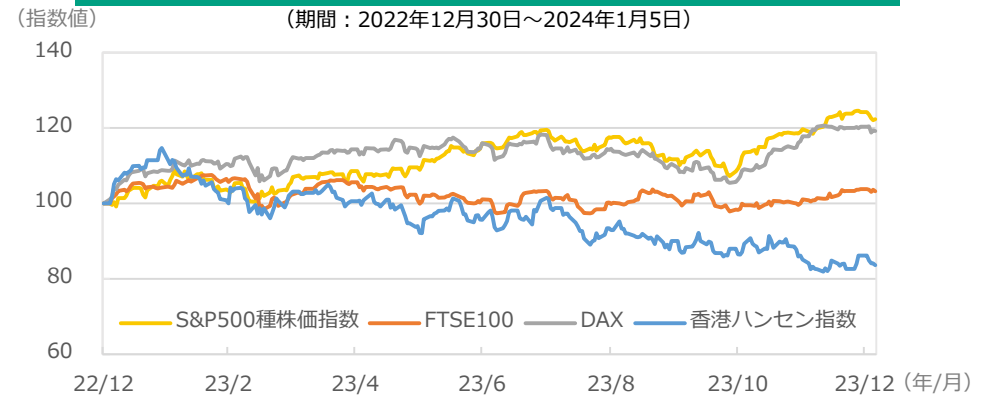
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202401_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2022年12月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成